

## ● 2013年（平成25年）10～12月

### 1 社会・治安情勢

#### （1）デモ

ア 10月4日、アンマンのダウンタウンにおいて、ムスリム同胞団メンバーや青年活動家約500人が、先の抗議行動中に拘束された者の釈放を要求する抗議行動を行った。

イ 10月18日、アンマンのダウンタウンにおいて、約300人が、約2ヶ月前に抗議行動中に拘束された者の釈放を要求する抗議行動を行った。

カラク近くにおいても約200人が同様の抗議行動を行った。

ウ 11月1日及び15日、カラクにおいて民衆活動家ら数百人が、生活必需品値上げの撤回、ヌスール政権の退陣などを求めて抗議行動を行った。

エ 22日、アンマンのダウンタウンにおいて、ムスリム同胞団及び活動家など300人が、政府が石油製品に対する補助金削減を決定したことに対する前年の暴動から1年が経過することを機に、政治・経済改革を求めて抗議行動を行った。

#### （2）シリア避難民

ア ハーパーUNHCRヨルダン代表は、ヨルダンに滞在するシリア避難民のうち、約80%が難民キャンプ外に滞在しているため、UNHCRとして支援の重点をマフラク、イルビッド、ザルカ及びアンマンに滞在する避難民支援に移すことで調整している旨述べた。UNHCRに難民登録し、難民キャンプ外の主要都市に滞在している避難民数は以下のとおり。

・マフラク 17万7,688人

・アンマン 13万86人

・イルビッド 12万1,271人

イ 11月9日、サイフ計画・国際協力相は、ワシントンにおける米国議会関係者との会談でヨルダンは60万人以上のシリア避難民の受け入れを行っており、経済的負担が増大している旨述べた。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）ヨルダン警察の発表によると、10月の犠牲祭中に805件の交通事故が発生し、うち、死亡者3名、負傷者177名。

また、同期間中に喧嘩25件、けん銃の発砲事件3件が発生した。

（2）11月19日、ムダーワラ・ヨルダン・サウジアラビア国境において、サウジアラビアからヨルダンへのけん銃50丁及び弾倉の密輸がヨルダン税関当局により阻止された。

(3) サルトにあるバルカー応用大学 (Balqa Applied University) における発砲事案

ア 11月17日, サルトにあるバルカー応用大学構内において, 数十名の学生グループによる衝突が発生し, けん銃の発砲により, 学生1名が脚部を負傷し, 計2名の学生が負傷した。大学当局及び目撃者の情報によれば, 学生グループ間の衝突時, 学生らは, 棒・ナイフ等の武器により殴り合いを行っていた。

ヨルダン警察は, 大学における銃器の所持・使用に対して厳罰をもって処するとの対応を決定するとともに, ヨルダン国民に対して公共の場や祝典会場等での祝砲の行為を自制するよう要請した。

イ また, 18日から19日にかけて同大学において, 部族抗争を背景とする数百名規模の学生らの衝突が継続的に発生し, 6名の学生が負傷した(被弾による脚部の負傷3名, 被弾による手の負傷1名, ナイフによる頸部重傷1名, 鈍器による打撲1名)。目撃者の証言によれば, 学生以外の多数の不審者が大学構内に入り, 学生の衝突に加勢して発砲行為等を行い, その後, 衝突は大学郊外において発生し, 数十台の車両が破損した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

なし。

(了)